



## 災害時の葬祭、遺体搬送で

### 県と全日本冠婚葬祭互助協会が協定

阪神・淡路の経験  
で支援体制整備

広域火葬の円滑、迅速化へ

県と一般社団法人全日本冠婚葬祭互助協会が

締結式では同協会会長

ことができる。地域のた

「災害時における棺及び葬祭用品の供給、遺体の搬送等の協力に関する協定」を結ぶことになり、締結式が18日午後、県災害対策センターで開かれた。

めに県と連携して取り組むたい」と応じた。

大規模災害により多数の犠牲者が発生した時に葬祭用品等の確保や、遺体搬送に迅速に対応する目的で、協定に基づき広域火葬を円滑に実施するためのルールなどをあらかじめ決めておく。

代表取締役と早金孝防災監が協定書を交わした。

山下会長は24年前の震災時に遺体搬送などの支援活動を行った経験を振り返り、「指揮系統をはっきりさせておく必要性を感じ、自治体と協定を結びサポート体制を強化することにした」と説明。

同協会では阪神・淡路大震災の経験、教訓から全国の自治体と同様の協定を締結しており、兵庫県で165件目となる。東日本大震災や熊本地震などで棺などの物資や人的支援

早金防災監は、「大災害時の遺体埋葬は非常に重要であり、大きな課題となる。あつてはならないことだが、備えることに意義がある。これを機にさまざまな面でも協力していただきたい」と求めた。

山下会長は「何かあった時の安全安心の仕組みがあつてこそ、前に進む

ことができる。地域のために県と連携して取り組むたい」と応じた。

山下会長は「何かあった時の安全安心の仕組みがあつてこそ、前に進む

ことができる。地域のために県と連携して取り組むたい」と応じた。

山下会長は「何かあった時の安全安心の仕組みがあつてこそ、前に進む

ことができる。地域のために県と連携して取り組むたい」と応じた。

山下会長は「何かあった時の安全安心の仕組みがあつてこそ、前に進む

ことができる。地域のために県と連携して取り組むたい」と応じた。

山下会長は「何かあった時の安全安心の仕組みがあつてこそ、前に進む

ことができる。地域のために県と連携して取り組むたい」と応じた。

山下会長は「何かあった時の安全安心の仕組みがあつてこそ、前に進む

ことができる。地域のために県と連携して取り組むたい」と応じた。

山下会長は「何かあった時の安全安心の仕組みがあつてこそ、前に進む

ことができる。地域のために県と連携して取り組むたい」と応じた。

山下会長は「何かあった時の安全安心の仕組みがあつてこそ、前に進む

ことができる。地域のために県と連携して取り組むたい」と応じた。

山下会長は「何かあった時の安全安心の仕組みがあつてこそ、前に進む

ことができる。地域のために県と連携して取り組むたい」と応じた。

山下会長は「何かあった時の安全安心の仕組みがあつてこそ、前に進む

ことができる。地域のために県と連携して取り組むたい」と応じた。

山下会長は「何かあった時の安全安心の仕組みがあつてこそ、前に進む

ことができる。地域のために県と連携して取り組むたい」と応じた。

山下会長は「何かあった時の安全安心の仕組みがあつてこそ、前に進む

ことができる。地域のために県と連携して取り組むたい」と応じた。

山下会長は「何かあった時の安全安心の仕組みがあつてこそ、前に進む

ことができる。地域のために県と連携して取り組むたい」と応じた。

山下会長は「何かあった時の安全安心の仕組みがあつてこそ、前に進む

ことができる。地域のために県と連携して取り組むたい」と応じた。

山下会長は「何かあった時の安全安心の仕組みがあつてこそ、前に進む

ことができる。地域のために県と連携して取り組むたい」と応じた。